

平成 28 年 4 月 14 日

各位

株式会社梅丹本舗

続報【重要なお知らせ】古式梅肉エキスに WADA 禁止物質の含有が確認されました。

英国 LGC、WADA ドーピング禁止物質の検査の結果、古式梅肉エキスに含有が確認された、1,4-androstadiene-3,17-dione (1,4-アンドロスタジエン-3,17-ジオン) は、蛋白同化ステロイドの一種で、自然界にも普通に存在しています。単離物質としては、創傷治療と筋肉損傷の治療の為に用いられることがあります。その特性から身体能力や筋肉の成長を増強するスポーツドーピングにも使用されることがあります。治療目的では一般的に 1 日 10~50mg を経口、注射、経皮等の方法で投与しますが副作用は特に確認されていないそうです。

スポーツドーピングの場合は、1 日 100mg~2500mg を投与するとの事ですので副作用もあるようです。

現在、スクリーニングテストで含有が確認されただけの状態ですので、同時に検査した含有が確認されなかった製品の梅肉エキスの含有量などから類推すると、梅肉エキス 1g 当たり 0.00005mg 前後の含有量ではないかと類推します。梅肉エキスの 1 日当たりの目安 3g の場合は 0.00015mg、10 倍の 30g でも 0.0015mg の摂取量ですので梅肉エキス中の 1,4-androstadiene-3,17-dione (1,4-アンドロスタジエン-3,17-ジオン) からの副作用は存在しないと考えています。

確定検査の終了時期は未定ですが、数字が確定し次第ご報告致します。

以上